

2018年7月30日

総務大臣 野田 聖子 様
文部科学大臣 林 芳正 様

日本共産党千葉市議会議員団

**公立小中学校の教室にエアコン設置を早期実現するため
学校施設整備予算の増額を求める申し入れ**

連日の猛暑の中、千葉市内では7月に最高気温37.4度を記録するなか、千葉市内の小中学校現場では、熱中症の被害が20件以上報告されるなど、子どもの健康と学習権が大きく損なわれています。

愛知県豊田市の小学1年生の児童が、熱中症のため死亡するという事案が発生しました。教室にエアコンが設置されていないことで、子ども達の命が失われることは、日本のどこでも決してあってはなりません。また、避難所となる学校にエアコンが設置されていないことは、避難者の健康と命を脅かすこととなります。

千葉市は財政的問題もあり、学校施設の老朽化やトイレ洋式化を優先させてきましたが、もはやこれ以上、エアコン設置の先延ばしは許されません。平成30年度の千葉市の学校施設環境改善交付金の採択率は80%程度で、全ての要望に応えきれていないのが実態です。また、補助金交付要綱上の補助率は1/3とされながらも、実工事費に対する補助率はトイレ改修で1/4程度、エアコン設置で1/5程度の補助金しか使えないのが実態です。交付金の採択率向上と補助率の改善、さらには学校施設のエアコン設置をリースで対応した場合にも国庫補助の対象とすることなど、財政支援の改善が急務です。

酷暑はもはや災害レベルであり、子ども達の命と健康を守るためには、小中学校の教室へのエアコン設置は必須であることから、以下について強く求めます。

記

1. 小中学校の教室にエアコン設置を早期実現のために、国の学校施設整備予算を平成30年度補正予算と来年度予算で大幅に増額し、自治体を支援すること。
2. 交付金の補助率は、実工事費に対しトイレ改修で1/4程度、エアコン設置で1/5程度であり、交付要綱上の補助率1/3を補助すること。
3. 学校施設環境改善交付金の採択率を改善するとともに補助単価を1/3から1/2へ引き上げること、また学校施設のエアコン設置をリースで対応した場合にも国庫補助の対象とすること。

以上